

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場会社名 パラマウントベッド株式会社

上場取引所 東

コード番号 7960 URL <http://www.paramount.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 恭介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務システム本部長 (氏名) 大内 健司

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

TEL 03-3648-1115

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	10,686	17.3	963	673.3	1,093	344.4	661	—
21年3月期第1四半期	9,113	—	124	—	246	—	31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	21.73	—
21年3月期第1四半期	1.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	79,411	62,162	78.1	2,038.02
21年3月期	79,889	61,790	77.1	2,026.11

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 61,989百万円 21年3月期 61,627百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	21,400	10.4	1,400	212.8	1,450	207.7	700	315.7	23.01
連結累計期間	43,700	9.7	2,300	24.8	2,200	110.2	900	—	29.59
通期									

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 31,682,526株 21年3月期 31,682,526株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 1,266,245株 21年3月期 1,266,074株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 30,416,358株 21年3月期第1四半期 30,417,837株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の悪化など厳しい状況が続く一方、経済対策の効果や対外経済環境の改善により、持ち直しの動きがみられました。

当医療・介護業界におきましては、06年度から08年度までの介護施設の整備が計画の半分にとどまったことや厚生労働省が進める療養病床の削減計画が進まないことなどが新聞等で報道されております。一方、政府は07年度予算から続けてきた社会保障費抑制策を撤回したほか、追加経済対策には、「介護施設の整備」とともに「介護従事者の処遇改善と人材確保」「地域の医師不足対策」などが盛り込まれました。

このような国内の事業環境の中で、施設向け販売は医療・高齢者施設とも依然として厳しい状況が続き、前期並みの水準で推移いたしました。在宅向け販売は、4月に発売した新製品「楽匠Sシリーズ」が好調で、業績の向上に寄与いたしました。

製品の開発・販売面におきましては、上記の「楽匠Sシリーズ」のほか、就寝中の睡眠と覚醒のリズムを測定するシステム「眠りSCAN」などを上市いたしました。

連結子会社につきましては、収益基盤の再構築に取り組んでいるフランスのコロナ・メディカル社を含め、おおむね予定通りに推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期は、売上高106億86百万円（前年同四半期比17.3%増）、営業利益9億63百万円（同673.3%増）、経常利益10億93百万円（同344.4%増）、四半期純利益6億61百万円（同1,996.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、794億11百万円となり、前連結会計年度末より4億78百万円減少いたしました。減少の主な要因は、売掛金及びたな卸資産が減少したことによるものです。

負債については、172億48百万円となり、前連結会計年度末より8億50百万円減少いたしました。減少の主な要因は、買掛金が減少したことによるものです。

純資産については、621億62百万円となり、前連結会計年度末より3億72百万円増加いたしました。増加の主な要因は、四半期純利益6億61百万円の計上によるものです。また、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇し、78.1%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月14日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間を上方修正いたしました。なお、通期の連結業績予想については変更しておりません。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,899	14,728
受取手形及び売掛金	11,273	11,949
リース債権及びリース投資資産	1,799	1,726
有価証券	4,678	4,576
商品及び製品	2,989	3,489
仕掛品	178	244
原材料及び貯蔵品	1,176	1,264
その他	1,014	868
貸倒引当金	△55	△54
流動資産合計	37,955	38,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,482	24,454
減価償却累計額	△14,967	△14,801
建物及び構築物(純額)	9,515	9,653
機械装置及び運搬具	7,854	7,698
減価償却累計額	△5,609	△5,480
機械装置及び運搬具(純額)	2,244	2,217
土地	8,169	8,168
リース資産	564	579
減価償却累計額	△208	△190
リース資産(純額)	356	389
賃貸資産	5,398	4,792
減価償却累計額	△989	△769
賃貸資産(純額)	4,408	4,023
建設仮勘定	2	78
その他	6,741	6,653
減価償却累計額	△5,651	△5,584
その他(純額)	1,090	1,069
有形固定資産合計	25,786	25,600
無形固定資産		
のれん	565	598
その他	2,040	2,067
無形固定資産合計	2,606	2,666
投資その他の資産		
投資有価証券	8,416	8,372
その他	4,727	4,537
貸倒引当金	△79	△79
投資その他の資産合計	13,063	12,830
固定資産合計	41,456	41,096
資産合計	79,411	79,889

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,052	5,090
短期借入金	728	736
リース債務	1,463	1,339
未払法人税等	407	677
賞与引当金	384	615
その他	2,511	2,455
流動負債合計	9,548	10,914
固定負債		
長期借入金	28	30
リース債務	4,574	4,238
退職給付引当金	1,835	1,732
その他	1,262	1,183
固定負債合計	7,700	7,184
負債合計	17,248	18,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,591	6,591
資本剰余金	7,276	7,276
利益剰余金	51,876	51,671
自己株式	△3,539	△3,539
株主資本合計	62,205	62,000
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△177	△330
為替換算調整勘定	△38	△42
評価・換算差額等合計	△216	△373
少数株主持分	173	163
純資産合計	62,162	61,790
負債純資産合計	79,411	79,889

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	9,113	10,686
売上原価	5,746	6,436
売上総利益	3,367	4,250
販売費及び一般管理費	3,242	3,287
営業利益	124	963
営業外収益		
受取利息	27	22
受取配当金	44	30
為替差益	—	84
匿名組合投資利益	61	23
その他	58	38
営業外収益合計	192	199
営業外費用		
支払利息	11	51
為替差損	53	—
投資事業組合運用損	—	11
その他	6	5
営業外費用合計	71	68
経常利益	246	1,093
特別利益		
投資有価証券売却益	126	0
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	129	0
特別損失		
投資有価証券売却損	5	—
投資有価証券評価損	28	—
固定資産除売却損	8	9
たな卸資産評価損	137	—
特別損失合計	179	9
税金等調整前四半期純利益	196	1,085
法人税、住民税及び事業税	68	397
法人税等調整額	92	△9
法人税等合計	160	387
少数株主利益	4	36
四半期純利益	31	661

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。